



愛される卒業生～休まない！～

前号では卒業後に一緒に働く仲間や職員の方々から愛され活躍している卒業生の秘訣「自分から挨拶」について、お知らせしました。今回はその第二弾として愛される秘訣その2「休まない！」をお伝えしたいと思います。

愛される秘訣が「休まない！」だなんて当たり前のことではないか!?と、思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、実は休まずに通うことが何と言っても愛される秘訣になるのです。では、なぜ休まずに通うことが愛される秘訣になるのかというと、ずばり「頼りになる！」からです。卒業後は様々な形で仕事（生産活動）を行い、社会とつながります。企業就労はもちろんですが、福祉サービス事業所においてもそれは同じです。就労継続 A 型事業所については、雇用契約を結んで働くことになります。就労継続 B 型事業所においても事業所内での仕事だけではなく、施設外の事業所に行って健常者の方と一緒に仕事をする、いわゆる施設外就労もあります。就労移行支援事業所においても就労に向けた訓練として委託業務があったり、施設外に出たりして仕事を行う事業所があります。生活介護事業所においても自主製品づくりを行い、イベントで積極的に販売している事業所があります。就労形態や事業所の方針によって様々ですが、いつまでに仕事を終わらせるといった目標（納期）があります。そのため、毎日休まずに通うことが重要であり、仕事をするうえで頼られることにつながるのです。

アフターケアで訪問した事業所で、「この仕事は〇〇さんにしかできないから、休まずに来てくれて助かっています！」や、「〇〇さんの働いている姿に仲間は刺激を受けています。〇〇さんがいるのといないのでは雰囲気は全然違います。」など休まずに毎日元気に通い、仲間や職場の方々から愛されて活躍している卒業生の話を聞くことがたくさんあります。職員の方々と話をしていると、休まない人に共通している点は、平日も休日も関係なく決まった時間に起床したり就寝したりできている人、薬の服薬の習慣ができている人、毎日お風呂に入って清潔にできている人など基礎的な生活習慣が身についていることに気づかされます。高等部を卒業して社会人になりたての頃は、保護者の方も体力があり元気でよいですが、お子さまだけではなくやがて保護者の方も歳をとります。こればかりは仕方がないことですが、そうすると保護者の方はお子さまの支援への負担が徐々に大きくなります。最近では「うちの利用者さんで一番年齢が高い人は、60歳を超えています。」といった話を聞くことが当たり前ようになってきました。基本的な生活習慣が身につけていないと、働くうえでの土台が不安定になってしまい休みが多くなってしまいます。職員の方々が「小さい頃から基本的な生活習慣を身に付けておくことが、社会人になって活躍するためには大切です。」とおっしゃるのには納得です。在学中は学校が一緒になって支援方法を考えたり、家庭と同じ支援方法で課題に取り組んだりすることができます。「〇〇さんが休まずに来てくれて本当に助かる。頼りになる！」と、一緒に働く仲間や職員の方々から愛され活躍している卒業生みたいになれるように、引き続き学校と家庭が一緒になって取り組んでいけたらと思います。

